



# 環境経営レポート 2023

🌳 対象期間 🌳

2022年4月1日～2023年3月31日

🌲 発行日 🌲

2023年8月25日

緑でネットワーク  
九州林産

九電グループ

ずっと先まで、明るくしたい。



# もくじ

## ❁ 主な取組み内容 ❁

P01 はじめに

P02 経営方針・環境経営方針

P03 会社概要

P04 沿革  
～環境と共に歩んだ歴史～

P05 事業活動と  
環境経営の融合

P07 2022年度トピックス

P09 2022年度  
環境経営目標・実績・評価

P10 実績グラフ  
(2013年度を基準とした実績・効果)

P11 環境経営方針1  
脱炭素社会への貢献

P12 環境経営方針2  
循環型社会への貢献

P13 環境経営方針3  
自然共生社会への貢献

P15 環境経営方針4  
社会との協調

P17 環境経営方針5  
環境管理の推進

P18 環境パフォーマンス  
(これまでの取組み成果)

P19 代表者による全体の  
評価と見直し・指示

P20 2023～2025年度  
環境経営目標・環境経営計画



## はじめに

### 「自然を守り、緑豊かな環境づくりを通して、社会に貢献します」

当社は、この企業理念の実現に向け、森林管理事業や造園・緑化事業、官公庁所管の各施設の指定管理者業務など、自然環境の保全にかかわる事業活動を展開し、緑を通じた社会貢献に努め、持続可能な社会の実現に取り組んでまいりました。

2022年度は、CO<sub>2</sub>など温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が認証するJ-クレジット制度のもと、当社は、自治体に対し、森林整備面でのJ-クレジット創出支援を開始しました。また、福岡県や福岡市のSDGsに関する登録証などを取得することができました。

今後も長年培った知見を活かしながら、事業活動と環境経営を一体のものとして着実に推進してまいります。



2023年8月  
代表取締役社長 小塩 正己



## 経営方針

### 行動指針

1 人と自然の調和をもとめ、快適環境づくりを考えます。

### 企業理念

1 自然を守り、緑豊かな環境づくりを通して、社会に貢献します。

2 知性と感性を磨き、技術の向上につとめます。

3 創造力と行動力をつちかい、活気溢れる企業風土をつくります。

2 技術力を高め、すぐれた製品とサービスを提供し、お客様の信頼にこたえます。

5 信頼と協調につとめ、活力ある明るい職場をつくります。

4 柔軟な発想で新しい価値を創造し、つねに可能性にむかってチャレンジします。

3 時代の声、お客様の声を今日の仕事にいかします。

### 基本方針

#### 1 脱炭素社会への貢献

脱炭素社会の実現に向け、節電、節水、エコドライブ、高効率機器の活用等による省エネルギー・省資源化を推進し、事業活動に伴う温室効果ガス排出抑制に努めます。

### 基本理念

九州林産株式会社は、「自然を守り、緑豊かな環境づくり」という企業理念のもと、すべての事業活動において環境保全意識の重要性を認識し継続的改善に取り組み、持続可能な社会の構築を目指します。

#### 2 循環型社会への貢献

廃棄物の再資源化、グリーン購入の徹底、伐捨間伐材などの未利用資源の有効活用等に取り組み、循環型社会の形成に貢献します。

#### 5 環境管理の推進

環境関連法規の遵守はもとより、環境関連情報の共有化を図り、全社一体となって環境マネジメントシステムの品質向上に努めます。

#### 4 社会との協調

環境経営情報を積極的に公開し、ステークホルダーとの連携・協調により社会とのコミュニケーションを図ります。

#### 3 自然共生社会への貢献

事業活動により環境に与える影響を低減するため、生物多様性への配慮や化学物質の使用抑制などに取り組み、自然と共生できる社会の構築に貢献します。

## 環境経営方針



# 会社概要

(2023/3/31現在)

社名 九州林産株式会社

代表者 代表取締役社長 小塩正己

資本金 4億9000万円

売上高 30億6600万円

事業活動

許認可

土木工事業、造園工事業、とび・土工事業、園芸事業、造林事業、木材事業、不動産賃貸業

国土交通省大臣許可 特3-第1615号  
特定 造園工事業、特定 土木工事業、特定 とび・土工事業

## 事業所

- ①：従業員数 (合計:113人)
- ②：のべ床面積 (合計:3,782.20㎡)
- ③：所在地

### ● 本店・福岡営業所

- ①：本店:40人、福岡営業所:6人
- ②：1,894.94㎡ ③：福岡市南区野間3丁目7番20号

### ● 佐賀営業所

- ①：4人 ②：100.43㎡
- ③：東松浦郡玄海町大字今村字浅湖4112-1

### ● 松浦事業所

- ①：2人 ②：132.50㎡
- ③：松浦市志佐町白浜免字楼楷田302

### ● 長崎営業所

- ①：4人 ②：88.00㎡
- ③：西彼杵郡長与町高田郷1809-1

### ● 苓北事業所

- ①：4人 ②：116.28㎡
- ③：天草郡苓北町大字年柄字苓陽1091-6

### ● 熊本営業所

- ①：5人 ②：56.70㎡
- ③：熊本市東区健軍2丁目18番26号2F

### ● 北九州営業所

- ①：6人 ②：39.77㎡
- ③：北九州市小倉北区米町2丁目2番1号

### ● 林業部

- ①：27人 ②：1,028.17㎡
- ③：由布市湯布院町中川815-1

### ● 大分営業所

- ①：5人 ②：79.20㎡
- ③：大分市大字青崎4番1

### ● 玖珠事業所

- ①：1人 ②：38.00㎡
- ③：玖珠郡九重町大字田野字中村下野1672-61

### ● 宮崎営業所

- ①：4人 ②：101.31㎡
- ③：宮崎市江平西1丁目3番6号841号

### ● 鹿児島営業所

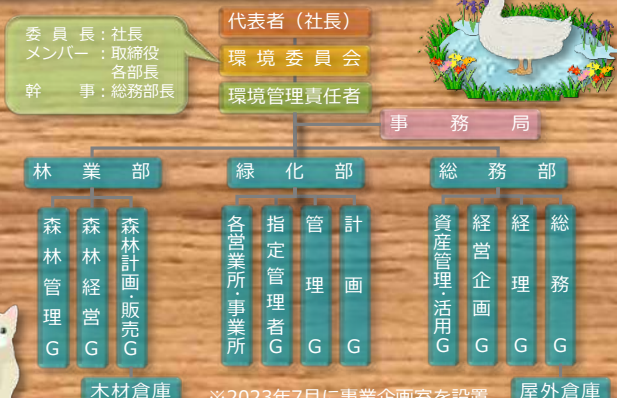
- ①：5人 ②：106.90㎡
- ③：鹿児島市下荒田3丁目24番7号

※緑部分は九州電力社有林

## 主な資格取得一覧

造園施工管理技士 (1・2級)	48名
土木施工管理技士 (1・2級)	46名
造園技能士 (1・2級)	8名
建築士 (1・2級)	2名
測量士	1名
公園管理運営士	2名
林業技士	11名
森林情報士 (1・2級)	5名
森林管理士	9名
環境教育インストラクター	4名
ピオトップ管理士 (1・2級)	8名
森林インストラクター	6名
森林施業プランナー	4名
衛生管理者	4名
建設業経理士 (1・2級)	16名

## E A 21 推進体制 対象範囲：全組織・全活動



環境管理責任者 総務部 経営企画グループ 長 徳留 雅大

担当者 笠 このみ 林 香那美 久間 弘太郎

連絡先 092-562-3014

ホームページ <https://www.q-rin.co.jp>





# 沿革 ~ 環境と共に歩んだ歴史 ~

当社の歩みは、今を遡ること約1世紀、1919年に九州電力の源流の一つである九州水力電気が水力発電の水を安定的に確保する「水源涵養林」と電柱材生産を目的に山林育成を開始したのが始まりです。その後、造園・園芸事業を開始し、工場立地が環境の保全を図り適正に行われることを目的とした、工場立地法の施行を機に、事業を拡大していきました。現在では、新たな事業にも取組みながら、既存事業を着実に進め、持続可能な環境経営に取り組んでいます。

…九州林産が特に取り組んだ項目





# 事業活動と環境経営の融合

当社は、中期経営計画において、2030年のありたい姿「緑を育み未来を創る～お客様から信頼・感謝される緑のパートナーを目指して～」を掲げ、その実現に向けて「**新たな価値の創造**」「**緑豊かな環境づくり**」「**人を活かす**」の3つの使命を確認しました。このうち「緑豊かな環境づくり」の使命達成に向けては「**環境を守る**」「**緑をつくる**」「**森を育て活かす**」の観点から、環境経営の基本方針である「**1 脱炭素社会への貢献**」「**2 循環型社会への貢献**」「**3 自然共生社会への貢献**」「**4 社会との協調**」「**5 環境管理の推進**」を土台とした事業活動を展開しています。

## 1 脱炭素社会への貢献

当社は、**FSC®森林認証**に基づく森林管理により、持続的な森林経営と環境配慮との両立に努めています。

適正な間伐により林内環境の改善を図ることは、樹木の生長量の増加を促し、森林のCO<sub>2</sub>吸収力の最大化にもつながります。

### 適正な森林管理によるCO<sub>2</sub>吸収

九州電力社有林面積

4,447ha

福岡県小郡市と同じくらい

CO<sub>2</sub>吸収蓄積量

132.9万t

成長量

38,982㎡

人工林のみ

### 木材を使い尽くすことによるCO<sub>2</sub>固定

木材生産量 : 13,332㎡

パルプ材

合板材

建築材

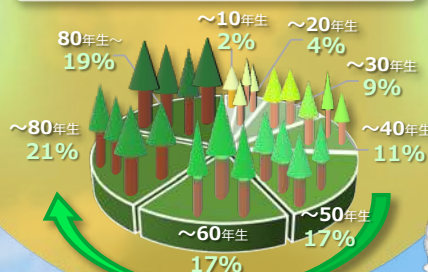
端材・末等はバイオマス燃料として活用

## 2 循環型社会への貢献

### 持続可能な森林経営

当社は、九州電力社有林において、苗木生産から植栽・育成管理・伐採・加工・販売と一貫した森林経営を実践しており、計画的な資源循環を通じ、木質資源の安定供給に努めています。(標準伐期：61年生以上)

九州電力社有林 林齢別面積割合



## 4 社会との協調

### 多彩なコミュニティ活動

当社は、自治体から受託する指定管理者施設にて、自然観察会や収穫祭、里山ボランティアなど多彩な環境イベントを開催し、地元の皆様との交流に努めています。

当社は、次世代層を中心とした環境教育を展開しています。森林の役割や環境配慮の重要性を講話やフィールドワークを通じ、参加者の記憶に残る体験となるよう工夫しています。

### 環境教育

## 3 自然共生社会への貢献

### 環境緑地形成と環境保全対策

当社は、環境や景観に配慮した緑地形成に努めています。都市緑化や屋上緑化をはじめ、自然環境復元、公園整備などにも取り組んでいます。





# 環境経営



## 1 脱炭素社会への貢献



## 2 循環型社会への貢献



## 4 社会との協調

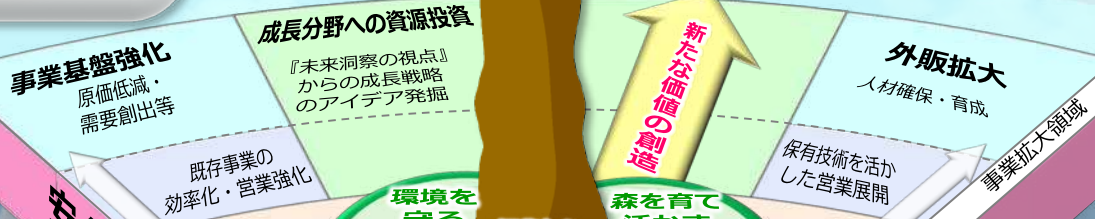


## 3 自然共生社会への貢献



## 5 環境管理の推進

### 事業活動



安全・コンプライアンス



新たな価値の創造  
人を活かす  
既存事業領域





## 当社の環境経営とSDGs

SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsには17の目標があり、「環境」「社会」「経済」の3つの層に分けることができます。

左図は、私たちが生きていく為に必要な環境の基盤が整うことで社会が成り立ち、さらに経済が成り立っているという事を示しています。当社はすべての土台となる「環境」を守るための取り組みを積極的に行っています。



引用:The SDGs wedding cake  
<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-the-sdgs-wedding-cake.html>



SDGsの達成に向けた活動を行い、2022年度は4つの登録証を取得しました。

### 健康優良法人

### ワンヘルス宣言事業者登録



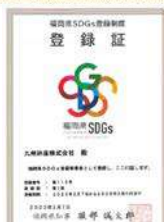
日本健康会議主催

### 福岡市 Well-being & SDGs 登録



福岡市主催

### 福岡県 SDGs 登録



福岡県主催



福岡県主催

### 新入社員教育

新入社員研修で当社とSDGsとの関わりについてグループワークをしながら考えました。



う～ん

この業務内容はこのSDGsの目標に当たるかな？

### SDGs講演会

当社のイノベーションスクールにてSDGsの本質を理解するために、「2030SDGsカードゲーム」を実施しました。



時間とお金を上手く使ってみることでより良い社会に！





# カーボンニュートラル社会への取組み

## ■ 早生樹の試験植栽



当社では、2022年度から福岡県宗像市で早生樹の試験植栽を開始しております。早生樹はスギやヒノキに比べて、成長速度が早いため木材の伐採までの期間が短くなり、バイオマス発電の燃料として安定的な供給が期待できます。

### 成長記録



植栽当初：約30cm



植栽2ヶ月目：約44cm



植栽4ヶ月目：約130cm

→今後の成長が楽しみ!

## ■ 立命館アジア太平洋大学 (APU) へのFSC認証材の提供



当社では、九州電力社有林において国際的な「FSC®森林認証 (FSC®C018956)」を取得し、持続可能な森林経営を行っています。今回APU新教学棟の建設に対して、当社の管理する九州電力社有林から産出したFSC認証材を提供しました。(竣工：2023年3月)



### > 見学会



2022年9月にAPUの学生・関係者を対象とした九州電力社有林見学会を開催し、実際の間伐施業をご覧頂きました。

説明の様子



伐倒の様子



木造外観

©2023 Ritsumeikan Asia Pacific University

完成!



木造内観

©2023 Ritsumeikan Asia Pacific University



# 2022年度環境経営目標・実績・評価

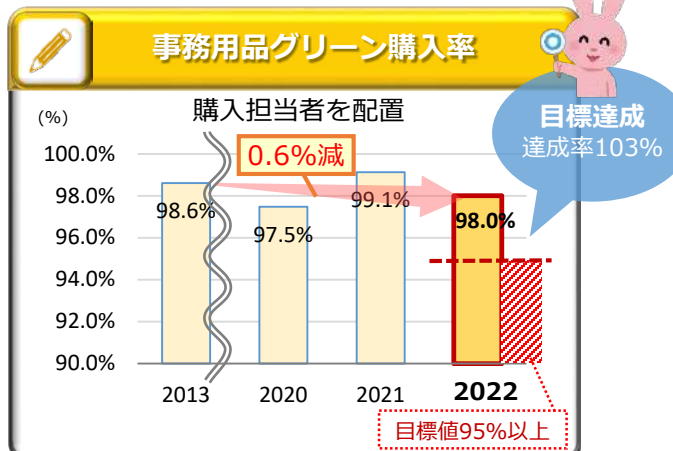
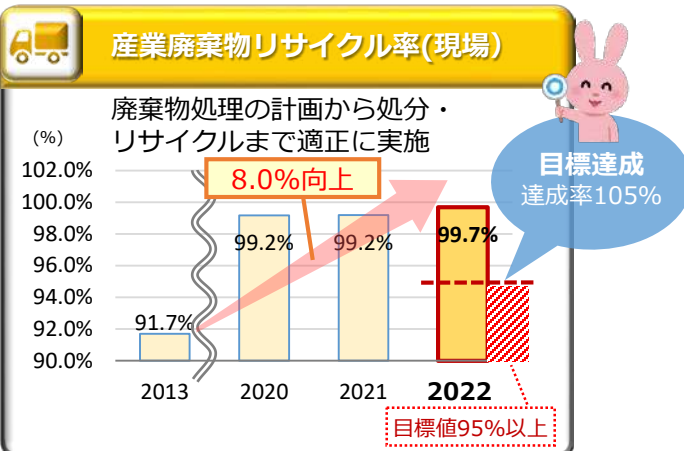
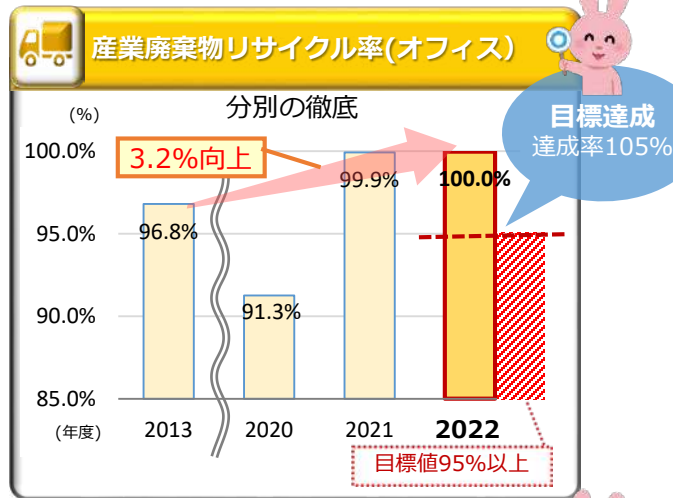
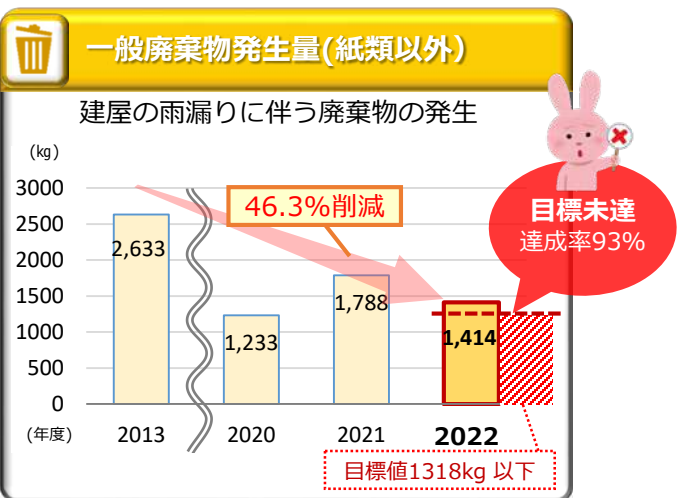
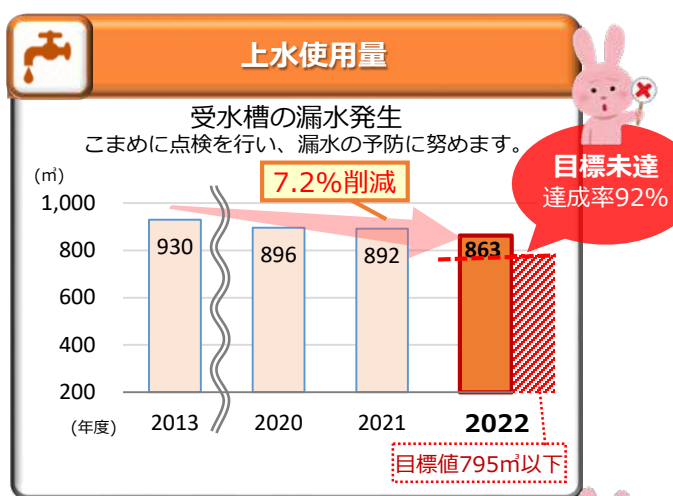
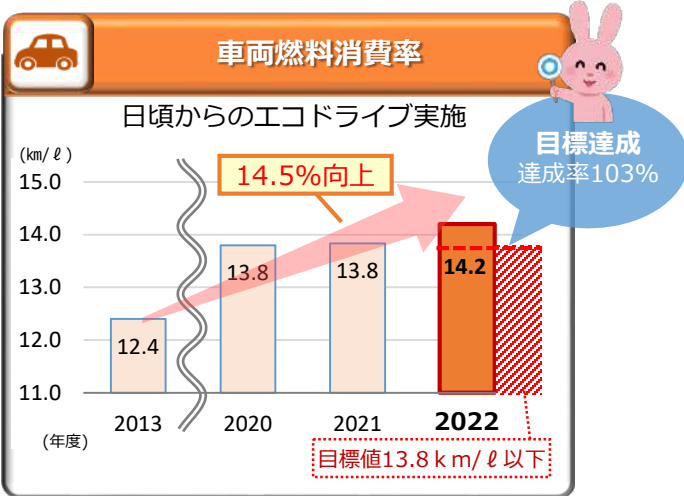
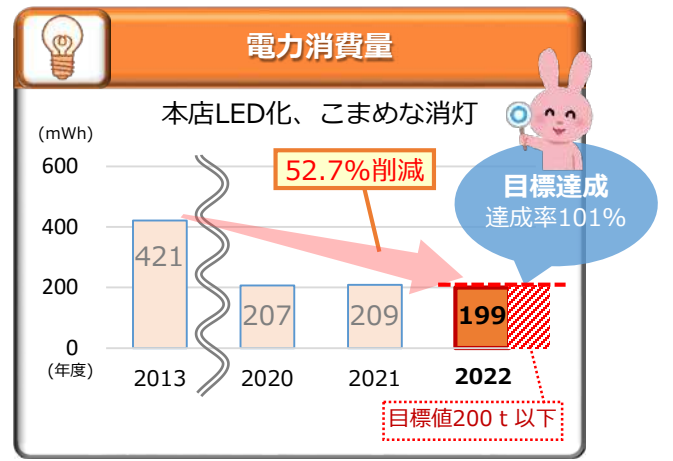
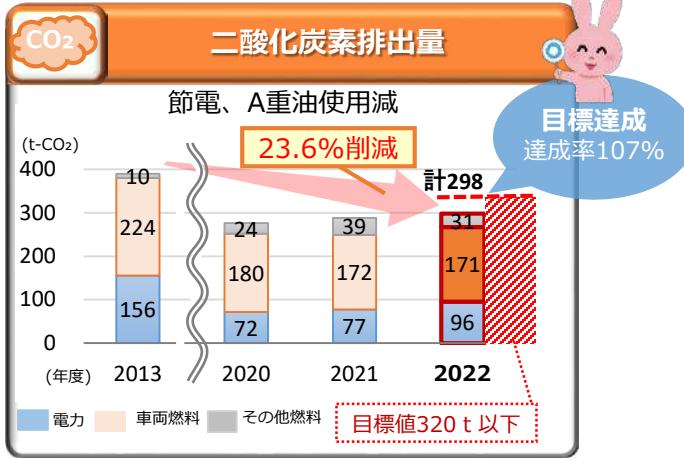
環境経営方針	環境経営目標				※1	※3	主な取組み内容	取組評価
					実績	実績評価		
1 脱炭素社会への貢献	温室効果ガスの排出抑制への着実な取組み	事業所における省エネルギー活動の推進	二酸化炭素排出量 (単位:t-CO <sub>2</sub> ) ※2	320以下	298	○	・LED電球への切替 ・冷房28℃、暖房19℃に室温を設定 ・昼休みの消灯	○
			電力消費量 (単位:mWh)	200以下	199	○		
		運輸面でのCO <sub>2</sub> 排出抑制の推進	車両燃料消費率 (単位:km/ℓ)	13.8以上	14.2	○		
	事業所における省資源活動の推進	上水使用量(単位:m)	795以下	863	×	・ボットの余り水を掃除や植物の水やりに活用	○	
	オゾン層の保護	規制対象フロン回収徹底と代替化への取組み						・空調設備の点検を各所で実施
電化の推進	オール電化の推進 社有車のEV化推進						・オール電化PR資料を設置 ・社有車のEV化、高速充電器の設置を検討	○ ○
2 循環型社会への貢献	廃棄物のゼロエミッション活動の展開	廃棄物・古紙リサイクル率の維持・向上への取組み	一般廃棄物発生量(紙類以外)(単位:kg)	1,318以下	1,414	×	・一般廃棄物の分別徹底によるリサイクル促進 ・古紙リサイクルの徹底	○
			産業廃棄物リサイクル率(リサイクル量/発生量)(単位:%)	95.0以上	100.0%	○		
		環境リサイクル事業の積極的活用	現場	95.0以上	99.7%	○	・産廃マニフェストの適切な運用及び適正処理確認の徹底	○
	循環型社会形成に寄与する事業活動の着実な展開	間伐材有効利用率(単位:%)	34.0以上	55.4%	◎	・未利用材の利用拡大に向け、販路拡大に努力	○	
	コピー用紙購入量削減	コピー用紙購入量削減の徹底	コピー用紙購入量(単位:kg)	2,780以下	2,708	○	・縮小・両面印刷、裏面利用を実施	○
グリーン購入の徹底	事務用品(紙類、文具類)とそれ以外のグリーン購入の徹底	事務用品グリーン購入率(グリーン購入金額/総購入金額)(単位:%)	95.0以上	98.0%	○	・電子カタログ購買システムによるグリーン購入の徹底 ・事務用品以外も極力環境ラベル認定品の購入を徹底	○	
3 自然共生社会への貢献	環境保全の推進	自然共生社会の形成に寄与する事業活動の展開	緑化工事受注件数(単位:件)	200以上	226	◎	・積極的な提案営業が受注実績に結びつき、緑豊かな社会に貢献	○
		生物多様性への取組み	希少種の保全活動				・希少種巡視活動を13回実施(25種を確認)	○
			事業における環境リスクの低減				・施業前後にチェックリストで生物多様性に配慮すべき事項を把握・確認	○
		化学物質使用量の削減					・代替物質の活用などにより、極力PRTR制度対象物質を抑制	○
環境上の事故及び緊急事態への準備・対応					・環境上の緊急事態を想定した訓練の実施	○		
4 社会との協調	環境に関するコミュニケーションの推進	環境情報の積極的な公開					・環境経営レポートを営業活動時や就職説明会などで配布(29部) ・ホームページでのレポート公開	○
	地域における環境活動の推進	地域に密着した環境活動への取組み					・社内外の清掃活動、計23回に延べ97人の社員が参加 ・九電みらい財団と協働し環境教育を計12回開催(次世代向け311人・親子向け80人・デジタル環境教育174人参加)	○
5 環境管理の推進	EMSの自立運用	事業特性等に応じたEMSレベル向上への取組み					・内部監査(運用業務支援)を9箇所を実施	○
		環境関連データの確実な把握と実効性の高い目標設定					・環境関連データの全社大での確実な把握	○
		環境経営目標等の達成に向けた各所での効果的な取組み					・取組状況も含めた環境経営実績の分析・評価を確実に実施し改善	○
	環境データの確実な把握と目標管理の推進	環境会計データの確実な把握と活用					・環境経営のコスト及び効果を可能な限り定量的に把握・分析し公表	○
		環境教育の実施及び環境情報の共有化	環境の情勢変化に対応した各種環境教育の実施・参加					・社外情報収集のため、九電グループ環境経営推進部会へ2回参加
九電グループネットワークの活用による環境情報の共有化								
環境関連法令の遵守徹底	環境法規制等の特定	環境法規制等遵守状況の確認・評価					・環境関連法規等を特定し、遵守状況を確認	○

※1 黄色の項目は現場の数字を除く ※2 二酸化炭素排出量は電力消費量・ガリン使用量・重油などの使用量にCO<sub>2</sub>排出係数を乗じて算出

※3 ◎: 目標達成率110%以上の大幅な目標達成項目 ○: 目標達成項目 ×: 目標未達項目



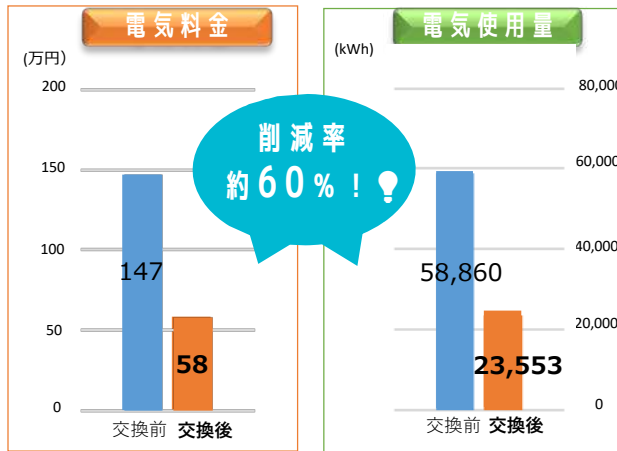
# 実績グラフ(2013年度を基準とした実績・効果)





## LED電球への切替

本店の電球をLED電球に切り替え、照明にかかる電気料金・電気使用量を削減することが出来ました。



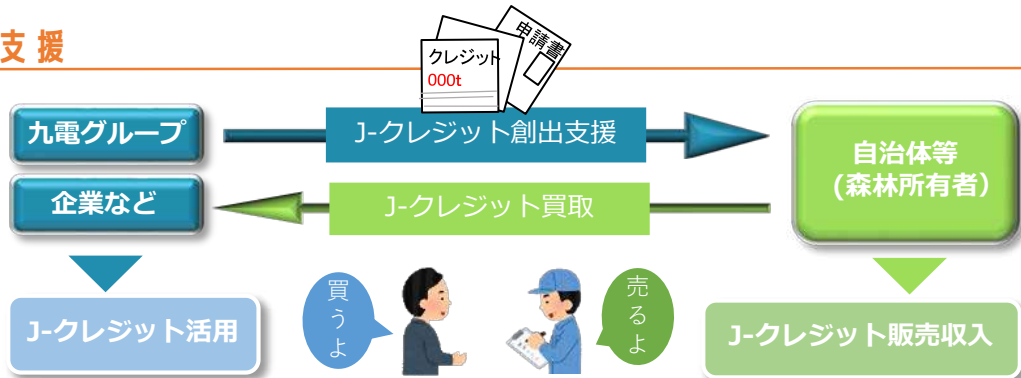
電気料金は年間約88万円の削減効果が算出されています！

電気使用量も年間約3万5千kWhの削減効果が算出されています！

参照：(株)インフォテックアドバイザー算出データ

## J-クレジット創出支援

熊本県森林整備課と、熊本県内に森林を所有する6者を対象に、J-クレジット創出に必要な申請を支援する業務を受託しました。



## いさはや九電みらいの森の植林活動への協力

九電みらい財団が主催する「九電みらいの森プロジェクト」に協力しました。子供たちに植林用の穴掘りや、植林方法の指導を行いました。



ボランティアの子供たちが植林を頑張っています！

## 燃費ランキング

北九州営業所では、車両燃費向上のため、独自に表彰制度を設け、所員全員で燃費改善に取り組んでいます！



## WEB会議スペース新設

WEB会議スペースを新設しました。会議出席等の移動が減り、CO<sub>2</sub>排出量削減に繋がっています。



プライベート空間で快適です！



休憩スペースもあるよ！



## 一般廃棄物の分別

廃棄物のリサイクル率向上と発生量抑制に向け、各事業所が所在する市町村の基準に沿って分別の徹底をすることに努めています。



ステッカーを貼り分別を徹底しています（\*▽\*）

燃えるごみ  
COMBUSTIBLE WASTE

機密文書を含む古紙リサイクル率100%の取組が定着しています

機密文書廃棄専用袋



## ロボット芝刈り機の導入

ロボット芝刈り機は人手をかけず芝の管理が出来る、廃棄物の抑制やコスト削減に繋がるなどのメリットがあるため、2022年度より当社が管理する今津リフレッシュ農園や夜須高原記念の森へ導入しています。



**導入のメリット**

- ・芝が伸びる前に刈るため、集草作業が不要＝ゴミが出ない
- ・ロボットが切った芝は、そのまま土に還り、自然と堆肥化

## 本店ビルエントランスのリニューアル

本店ビルの内装リニューアルに際し、当社が管理する九州電力社有林の間伐材を含むFSC®森林認証材を使用しました。



この玄関ホールの内装材は、当社が管理する九州電力株式会社社有林で育まれた杉と檜です。同社有林で行う森林経営は、持続可能な森林の利活用・保護を図る FSC 認証を受けております。（平成 17 年取得）

## 環境経営レポート表彰

当社の環境への取組み内容を「環境経営レポート」として取りまとめ、『エコアクション21レポート大賞・九州』と、全国規模の『環境コミュニケーション大賞』（現在はエコアクション21オブザイヤー）に応募し、様々な賞を受賞しています。

**2018** 九州「環境活動レポート大賞・九州」  
全国「優良賞」

**2019** 九州「選考委員会特別賞」  
全国「優秀賞」

**2021** 九州「外部コミュニケーション優秀賞」

**2022** 九州「九州環境カウンセラー協会特別賞」



# 環境経営方針3 自然共生社会への貢献（主な取り組み）

当社は、多様な生物生育環境の保全と事業活動がもたらす生態系への影響低減に向け、効果的な生態系の維持・回復対策の手法や手順、実施スケジュール等を「生物多様性保全ガイドライン」として取りまとめ、改善策の検討・提言に取り組んでいます。

## 希少種の保全活動（九州電力社有林内）

### 巡視活動

九州電力社有林内に生息する希少植物の定期的な巡視活動を実施しています。



ノハナショウブ



ヒメユリ



サギソウ



シラヒゲソウ



チョウセンスイラン



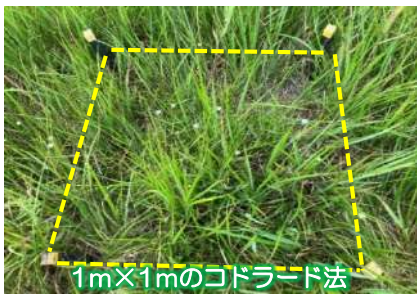
ムラサキミミカキグサ

### 巡視活動で確認された希少植物 24種（2022年度）

- ・アギナシ
- ・オオイヌノハナヒゲ
- ・カキラン
- ・クサレダマ
- ・コタヌキモ
- ・コバノトンボソウ
- ・サギソウ
- ・サウギキョウ
- ・シラヒゲソウ
- ・タチカモメヅル
- ・チョウセンスイラン
- ・トキシソウ
- ・ヌマクロボスゲ
- ・ノハナショウブ
- ・ヒメユリ
- ・ホザキノミミカキグサ
- ・ミカツキグサ
- ・ミスオトギリ
- ・ミスチドリ
- ・ミズトンボ
- ・ミタケスゲ
- ・ミミカキグサ
- ・ムラサキミミカキグサ
- ・モウセンゴケ

### 定点植生調査

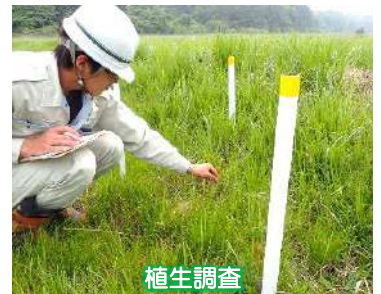
湿地帯の希少植物群生地においては、コドラード（区画）法による植生調査を行っています。シラヒゲソウ等湿生植物の個体数調査の結果、2022年度においても湿地帯の植生が維持されていることを確認できました。



1m×1mのコドラード法



シラヒゲソウ



植生調査

### 定点写真観測

くじゅう地域の代表的な希少種であるミヤマキリシマの定点観測・調査をしています。また、支障木を伐採する活動を行っており、その効果を定点写真により観察しています。



2015年度



2022年度



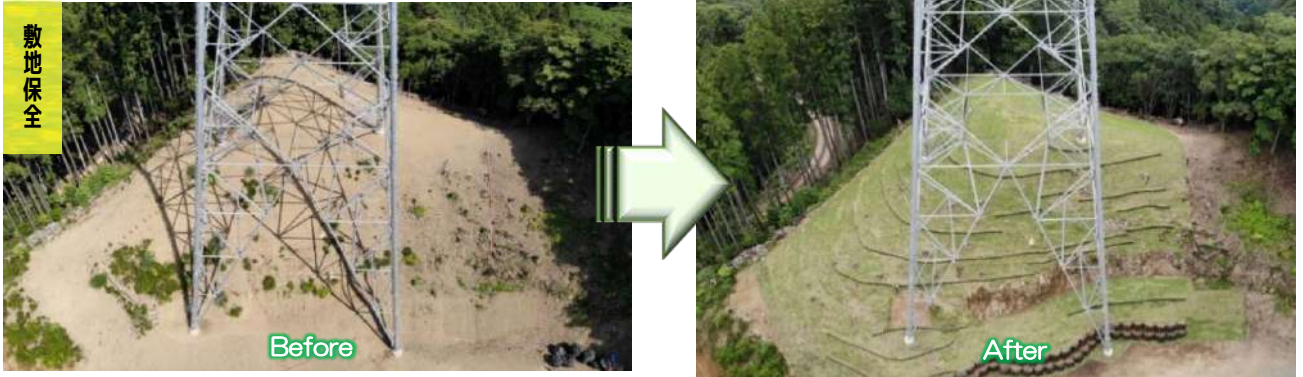
2022年度は、シャクガの幼虫により開花数が減少しましたが、過去の傾向から、植生は自然に回復すると思っています🌸



## 生物多様性への配慮

### 鉄塔敷地保全(日向幹線)

東九州変電所(大分県)～ひむか変電所(宮崎県)の区間で、288基の鉄塔の敷地保全工事を受託しました。山間部の鉄塔の建設において、削られた表土を張芝などにより、元の植生に回復していくことを目的としており、豪雨などにも充分耐えられる工法を採用しています。また、工期8年間無事故で完了する事が出来ました。



### かなたけの里公園 (福岡市)

当社が管理する「かなたけの里公園」では、多様な植物や生き物と人とが共生できる環境づくりに取り組んでいます。特に「生物多様性への取組み」については、各分野の専門家などを運営スタッフとして採用し、次世代層への教育活動や生物多様性保全環境づくりなどを実施しています。



### 里山観察会



オンラインでも開催したよ♪



当社では、九州電力社有林の管理や官公庁所管の公園・農園の指定管理者業務の中で、地域の方々や地場企業、教育関係者、自治体の方々との協働による環境教育に取り組んでおり、参加される多くの皆さまと環境コミュニケーションを展開しています。

🌳 「くじゅう九電の森」における環境教育

九電みらい財団とともに、九州電力社有林を舞台とする環境教育に取り組んでおり、2022年度は開催回数12回、参加人数565人でした。また、デジタル環境教育にも携わり、オンライン中継で小学校と繋ぎ、森の天気、森の適切な管理方法や間伐の方法を説明しました。



森の役割実験



森の講義



間伐体験



間伐により林内に光がさすように！



デジタル環境教育



森林散策

🌱 指定管理者施設における環境教育

当社が管理する「夜須高原記念の森」にて、森の役割をクイズや体験形式で学べるイベントを新たに開催しました。

も り ん ち ゃー  
ア ド ベ ン チ ャ ー



木を切ってみよう



森の水の流れを  
実験してみよう！



木の箸を作っ  
てみよう！



## 事業活動を通じた地域社会との協調

### 指定管理者施設における各種イベント

当社では、地域に根付いた公営の公園・農園の管理運営を行っています。各施設では、体験学習・ボランティア活動・収穫祭・スポーツ大会など、様々なイベントを開催しています。



(福岡市)



(北九州市)



(福岡市)



(福岡県)



(福岡市)



(福岡県)

### 台風14号による被害復旧

台風14号の影響により倒れてしまった木の撤去作業を行いました。(新大分発電所)



### 4社合同清掃

2023年3月に近隣の九電グループ会社合同で、福岡市南区塩原中央公園の清掃活動を実施しました。



(右から)九州林産(株)/九州高圧コンクリート工業(株)/九州電力(株)総合研究所/九電テクノシステムズ(株)





## 📖 主な環境関連法規の遵守状況

当社事業活動に関する環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
また、災害や事故に起因する環境関連法規に関するステークホルダーからの指摘や訴訟もありませんでした。

全社に共通するもの	緑化事業に関するもの	森林管理事業に関するもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性基本法</li> <li>・建設物省エネ法</li> <li>・温暖化対策推進法</li> <li>・グリーン購入法</li> <li>・循環型社会形成推進基本法</li> <li>・フロン排出抑制法</li> <li>・建設リサイクル法</li> <li>・浄化槽法</li> <li>・廃棄物処理法</li> <li>・家電リサイクル法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源有効利用促進法</li> <li>・騒音規制法</li> <li>・振動規制法</li> <li>・PRTR法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林法</li> <li>・自然公園法</li> <li>・オフロード法</li> <li>・消防法</li> </ul>

## 🏠 環境マネジメントシステム（EMS）レベル向上に向けた社内教育の展開

### EA21更新審査

EA21では、当社EMSレベルの定着状況について第三者による審査を受けています。



### 環境委員会

当社は、環境経営の一環として、環境委員会を年2回開催し、必要事項を審議・決定しています。



### 丸林イノベーションスクールの開催

当社では、人材育成と技術力継承を目的に、新たな事業展開への気づきや効果的な業務改善活動を図るため、定期的に社内スクールを開催しています。

**【2023年度テーマ】**

- ・ブランディングとは
- ・カードゲームで体感～SDGsに取組む意義とその本質～



## 📎 環境上の緊急時対応訓練の実施

環境事故の未然防止の観点から、緊急事態を想定した訓練を実施しています。

**1**

燃料漏れが発生！（想定）

**2**

洗剤・水散布

**3**

ブラッシングし、安全に処理



# これまでの環境活動による成果 (現場実績含む)

## 環境活動によるコスト削減

分類	単位	物 量				
		2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	削減量 (2013年差)
電力	mWh	430.0	214.0	214.7	205.2	224.8
車両燃料	kl	93.91	76.10	72.92	72.7	21.2
その他燃料	kl	3.8	9.1	14.5	11.5	-7.7
水道	m	930.0	947.0	944.0	922.5	7.5
廃棄物処分	t	384.0	48.3	22.1	129.6	254.4
廃棄物リサイクル	t	3,776.0	1,643.3	2,217.6	1,498.7	2,277.3

分類	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	金 額 (単位:千円)
					削減額 (2013年差)
電力	12,087	6,016	6,035	5,767	6,320
車両燃料	15,809	12,908	12,418	12,390	3,419
その他燃料	395	935	1,485	1,174	-779
水道	392	399	397	388	3
廃棄物処分	384	233	138	351	33
廃棄物リサイクル	4,174	6,087	7,462	4,323	-149
合 計	32,608	26,403	27,703	24,157	8,451

2022年度は、2013年度比で、**8,451千円削減!**



## マテリアルバランス (2022年度)

### インプット(使用量)

**電力**

- ・オフィス 199.4Mwh
- ・現場 5.7Mwh

**205.2 MWh**

**燃料**

- ガソリン 62.6kl
- 軽油 10.0kl
- 灯油 0.5kl
- A重油 11.0kl

**72.7 kl**

**11.5 kl**

**上水**

- ・オフィス 863.0m<sup>3</sup>
- ・現場 59.5m<sup>3</sup>

**922.5 m<sup>3</sup>**

**紙**

- コピー用紙 **67.7万枚**
- トイレットペーパー **897巻**

**事務用品**

**造園用土壌**

- ・現場**40.0m<sup>3</sup>**

**防虫剤等**

- ・現場**44.7kg**

### 事業活動

#### 緑化

- ・植物を植える
- ・緑地のメンテナンス
- ・公園の管理

#### 林業

- ・森の管理
- ・木材販売

#### オフィス

- ・事務作業

### アウトプット(排出量)



- CO<sub>2</sub>**
- 電力 95.5t
  - 車両 171.2t
  - その他燃料 30.9t
  - オフィス 2.7t
- 300.4 t-CO<sub>2</sub>**



- 排水**
- 河川 221.4m<sup>3</sup>
  - 下水 520.0m<sup>3</sup>
  - 現場 27.5m<sup>3</sup>
  - 海域 32.0m<sup>3</sup>
  - オフィス 27.5m<sup>3</sup>
- 800.9 m<sup>3</sup>**



- 一般廃棄物**
- 紙類 3.2t
  - 紙類以外 1.4t
  - 現場 1,107.6t
- 1,682.2 t**
- 産業廃棄物**
- オフィス 145.1t
  - 現場 370.9t

このうち**1,498.7 t**をリサイクルし、リサイクル率**92.0%**達成!

当社が長年管理してきた、九州電力社有林の2022年度末CO<sub>2</sub>吸収蓄積量**1,329,000 t**  
 ※当社事業活動でのCO<sub>2</sub>排出量(年間)の約**4,424**倍に相当





## 代表者(社長)による 全体の評価と見直し・指示



環境委員会を開催し、2022年度の環境経営・環境活動に対して、代表者(社長)から以下の通り全体の評価と見直し・指示がありました。

### (全体の評価)

- ・環境経営方針に沿った環境経営目標(定量・定性)とその達成に向けた具体的な取組みを示す「環境経営計画」の着実な実践に向け、事業活動と環境経営が有機的に連携された企業行動が定着化しているものと評価しています。
- ・上記の私たちの取組は「九州環境カウンセラー協会特別賞」受賞という成果で社外から一定の評価をいただきました。今後も、当社内の課題解決に向けた取組みは勿論、福岡県SDGs登録制度など地元自治体が提唱する枠組みを活用し、環境に係る地域課題解決も目指し、連携していくことを期待します。

### (見直し・指示)

- ・環境活動項目毎の評価及び見直しについて、引き続き環境活動の品質水準に磨きをかけていく観点から、以下の諸点を検討して下さい。
  - 環境活動による成果とこれに要する費用との均衡について
  - 環境経営レポート素材をお客さまへ情報発信する魅力あるホームページへの展開
  - Jクレジット創出・継続支援の展開

## 2023～2025年度 環境経営目標・環境経営計画

代表者(社長)による全体の評価と見直し・指示に加え、エコアクション21更新審査で得られた気づき等をふまえ、2023年度以降の環境経営目標、環境経営計画について、環境委員会での審議を経て、次ページ(p20)のとおり取り組んでいくこととしました。

(参考) エコアクション21更新審査[2022年12月12日実施]からの気づき

#### ■評価された点

環境経営レポートに事業活動に伴うインプットとアウトプットを図表で明示し、取組み内容が分かり易くなるように工夫していることを評価していただきました。

⇒環境経営方針4 社会との協調(次ページ参照) 環境に関するコミュニケーションの推進に向け、次年度以降も継続・充実して取り組みます。

#### ■改善すべき点

「環境経営システムの実施体制」の役割分担表へ、全従業員の役割、責任、権限を明確に記載することをご指摘いただきました。

⇒更新審査報告書受領後、速やかに是正しました。





環境経営方針		2023～2025年度				
		環境経営目標（各年度）		主な環境経営計画		
1 脱炭素社会への貢献	温室効果ガスの排出抑制への着実な取組み	事業所における省エネルギー活動の推進	二酸化炭素排出量(単位:t-CO <sub>2</sub> )	281以下	・空調の適温化(冷房28℃程度、暖房19℃程度)の徹底 ・パソコン・プリンタ等の不使用時電源オフの徹底 ・始業前、昼休み、残業時等における不必要照明の消灯 ・エレベーターの使用抑制及び階段利用の促進	
			電力消費量(単位:MWh)	209以下		
		運輸面でのCO <sub>2</sub> 排出抑制の推進	車両燃料消費率(単位:km/ℓ)	13.9以下	・車両更新時における低公害車への計画的切替えの実施 ・エコドライブの確実な実施	
	事業所における省資源活動の推進	上水使用量(単位:m)	801以下	・節水意識を喚起するシールの活用などによる日頃からの節水の励行		
	カーボンニュートラルの実現(新規)	J-クレジット創出支援	提案営業(件)	4以上	・自治体等へJ-クレジット創出支援の提案を実施する。	
オゾン層の保護	規制対象フロンの回収徹底と代替化への取組み		・法定点検を確実に実施。空調入替の際には規制対象フロンの確実な回収と代替化の取組みを実施			
電化の推進	オール電化の推進		・お客さま来訪時に目に付く場所(本店玄関ホール)を活用し、オール電化のPRを実施			
	社有車のEV化推進		・EV車導入に向けた計画の策定と合わせて高速充電器の設置を検討			
2 循環型社会への貢献	廃棄物のゼロエミッション活動の展開	廃棄物・古紙リサイクル率の維持・向上への取組み	一般廃棄物発生量(紙類以外)(単位:kg)	1,365以下	・一般廃棄物発生抑制及び分別徹底によるリサイクル促進 ・古紙リサイクルの徹底	
			産業廃棄物リサイクル率(リサイクル量/発生量)(単位:%)	95.0以上		・産業廃棄物(水銀使用製品含む)の分別徹底 ・産廃マニフェストの適切な運用及び適正処理確認の徹底 ・機密文書、使用済蛍光灯及び乾電池のリサイクルの実施
		環境リサイクル事業の積極的活用	現場	95.0以上		
	循環型社会形成に寄与する事業活動の着実な展開	間伐材有効利用率(単位:%)	54.0以上	・林地残材の有効利用率の向上、及び間伐における低質材の利用向上		
	コピー用紙購入量削減	コピー用紙購入量削減の徹底	コピー用紙購入量(単位:kg)	2,987以下	・縮小・両面印刷、裏面利用を推進すると共に、会議資料のペーパーレス化を実施	
グリーン購入の徹底	事務用品(紙類、文具類)とそれ以外のグリーン購入の徹底	事務用品グリーン購入率(グリーン購入金額/総購入金額)(単位:%)	95.0以上	・電子カタログ購買システムによるグリーン購入の徹底 ・事務用品以外にも極力環境ラベル認定品の購入を徹底		
3 自然共生社会への貢献	環境保全の推進	自然共生社会の形成に寄与する事業活動の展開	緑化工事受注件数(単位:件)	190以上	・緑豊かな社会に貢献するため、緑化工事を推進	
		生物多様性への取組み	希少種の保全活動	・定期的な情報収集とマッピング ・蓄積・分析したデータのステークホルダーへの提供など適正管理へ向け各種活動の展開・改善を実施		
			事業活動における環境リスクの低減	・チェックリストの活用・充実 ・各作業項目におけるチェックリストの活用による生物多様性へ配慮した施工推進並びに施業完了後の影響評価の実施		
		化学物質使用量の削減	・PRTR制度対象物質の使用量の把握(協会会社も含む) ・周辺環境への影響を最小限に留めるとともに、使用する化学物質の種類について代替物質の活用などにより極力PRTR制度対象物質の使用を抑制			
	環境上の事故及び緊急事態への準備・対応	・環境上の緊急事態を想定した訓練の実施および訓練終了後の検証・改善				
4 社会との協調	環境に関するコミュニケーションの推進	環境情報の積極的な公開		・環境経営レポートをコミュニケーションツールとして、ホームページ等での効果的な公表を検討		
		環境経営レポートの内容充実と積極的な活用		・環境経営レポートの内容充実を図り、各事務所の窓口への備え付けや協力会社、お客さまへ配布し積極的にPRすると共に、環境経営レポートの更なる活用策も検討		
	地域における環境活動の推進	地域に密着した環境活動への取組み	・清掃活動、植樹活動などのボランティア活動への積極的な参加			
5 環境管理の推進	EMSの自立運用	事業特性等に応じたEMSレベル向上への取組み		・内部監査の際、EA21監査(運用業務支援)を同時に実施		
		環境関連データの確実な把握と実効性の高い目標設定	・環境関連データの全社大での確実な把握に努め、的確な目標管理と設定目標の実効性向上			
		環境経営目標等の達成に向けた各所での効果的な取組み	・環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果を的確に活用し、取組状況も含めた環境経営実績の分析・評価を確実に実施			
	環境会計データの確実な把握と活用	・環境経営のコスト及び効果を可能な限り定量的に把握・分析し公表				
	環境教育の実施及び環境情報の共有化	環境の情勢変化に対応した各種環境教育の実施・参加	・九州電力が主催する各種環境教育へ積極的に参加するとともに、社内環境勉強会を検討・実施			
九電グループネットワークの活用による環境情報の共有化		・九電グループネットワークの「九電グループ環境情報」を積極的に活用し、環境情報を共有				
環境関連法令の遵守徹底	環境法規制等の特定		・環境関連法規等を特定し、遵守状況の洗い出し(棚卸し)を確実に実施			
	環境法規制等遵守状況の確認・評価		・環境関連法規等遵守状況の確実な把握と評価			



